学校番号	219

平成 31 年度　公民科

教科	公民科	科目	現代社会	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	最新現代社会 新訂版（実教出版）						
副教材等	『クローズアップ現代社会 2019　新版』（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会という科目は、単に「知っている」「暗記している」で満足できる科目ではありません。毎日のニュースや報道番組、新聞記事などに関心を持ち、授業をきっかけとして興味を持ったことについて自ら調べたり読書したりすることで、社会的視野がより広くなるのもこの科目の特徴です。この広い視野が、2 年 3 年での地理・歴史や政治経済の学習などに活きてきます。是非とも積極的な課題意識を持って取り組んでください。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用して学ぶ方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や，学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	活動観察(授業態度、ノートやグループ討論)	ワークシートによる作業等の活動観察、論述課題	ワークシートによる作業等の活動観察、論述課題	定期考査や小テストによる評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	民主政治と日本国憲法	(ア)日本国憲法の基本的性格 ①日本国憲法の制定 ②自由に生きる権利 ③平等に生きる権利 ④社会権と参政権・請求権 ⑤人権のひろがりと公共の福祉 ⑥平和主義とわが国の安全 ⑦今日の防衛問題	○	○	○	○ ○ ○	a：主権者として憲法成立過程と基本的人権，平和主義の内容を意欲的に追求しようとしている。 b:人権問題，安全保障を多面的・多角的に考察し，結果と根拠を様々な方法で表現している。 C:人権や安全保障の時事的な自称を収集し，適切に活用できる。 d:憲法が普遍性を持つこと気づき，人権が生まれながらの権利であること，他者の権利の尊重を理解，知識を身に付けている。 d:平和主義，安全保障について国家主権、領土(領海、領空を含む)を国際法と関連させ理解，その知識を身に付ける d:現代政治への関心が高まり，主権者意識が身に付いている。	活動観察(授業態度、ノートやグループ討論) ワークシートによる作業等の活動観察、論述課題 定期考査や小テストによる評価

2	現代の経済社会と国民生活	(イ)現代国家と民主政治 ①民主政治の基本原理 ②法の支配と法の意義・役割 (ア)現代の経済社会 ①経済社会の変容 ②市場のしくみ	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○